

第8期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価表（令和5年度下半期）

1 地域包括ケアシステムの深化・推進

(1) 自立支援、介護予防・重度化防止の推進

評価項目	分野	年間目標値		上半期実績値	下半期実績値	年間実績値	達成度
		要支援1	要支援2				
①要支援認定者の状態維持率 (KDB健康スコアリング) *令和4年度実績値	介護	要支援1	58.0%	59.1% (*)	59.1% (*)	59.1% (*)	A
		要支援2	58.0%	60.7% (*)	60.7% (*)	60.7% (*)	
		目標値は達成。口腔機能向上教室にて口腔内視診や口腔機能チェックを再開した。ハイリスク対象者へ個別の通知の送付や、パンフレットの配布等、周知を強化した。 【参考】 認定率の推移（令和5年度9月末の時点） 要支援1 2.8%（前年比+0.1%） 要支援2 2.0%（前年比+0.1%）					
②地域はつらつ講座実施回数 ※年間合計	介護地域	35回		17回	7回	24回	B
		目標値はおおむね達成。老人クラブ、自治会、地域サロン等に周知を図り、実績値は前年度（19回）よりも増加し、コロナ禍前の令和元年度の実績値（27回）に近づいてきている。					

- A 達成できた
- B おおむね達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

総合評価

B

担当部署評価

要支援認定者の状態維持率については、令和4年度の実績値であるが、目標値を達成。なお、本市の要支援1と要支援2の認定率は、やや増加傾向にあるものの、県や国の認定率よりは低く、介護予防の効果が一部でていることが伺える。

地域はつらつ講座については、目標値には届かなかったが、自治体や住民へ周知を図り、実績値は増加している。各地域包括支援センターで実施回数に差がある点は、今後も働きかけを継続していく。

（評価委員会評価は裏面に記載）

評価委員会評価

要支援認定者の状態維持率については、KDB健康スコアリングの結果だけでなく、市で使用している介護保険システムから抽出するデータにおける結果もあわせて、第9期では状態維持の経過を追う指標として分析してほしい。

地域はつらつ講座については、地域はつらつ講座を実施できる包括支援センターの体制づくりを行政として運営してほしい。また、各自治会や老人クラブ等が地域はつらつ講座を年間計画に盛り込めるようなタイミングで事業内容を周知してほしい。